

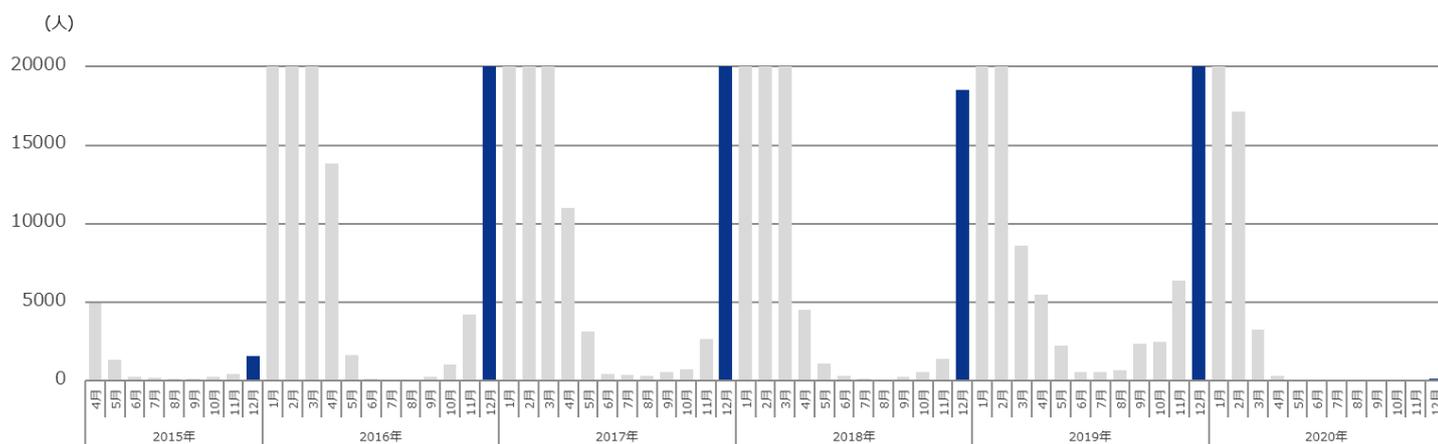
## インフルエンザ患者数は前年同月比 338 分の 1 未成年、特に 10 歳未満のインフルエンザ患者数が大幅に減少 ～JMIRI 処方情報データベースにおける調査より～

医療情報サービスを手がける株式会社医療情報総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章、以下 JMIRI）は、独自に運用する「JMIRI 処方情報データベース」の 2020 年 12 月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大が処方箋データに与えた影響を調査・分析しました。

### 1. インフルエンザ患者数は低水準 前年同月比 338 分の 1

例年 12 月はインフルエンザ患者数が急増し学級閉鎖も取り上げられるようになる時期ですが、今年の状況は大きく異なるようです。2020 年 12 月のインフルエンザ患者数は前年同月比で 338 分の 1、2015 年～2019 年 12 月平均比で 169 分の 1 と 11 月よりもさらに減少幅が大きくなりました(2020 年 11 月：前年同月比約 60 分の 1、2015 年～2019 年 12 月平均比約 28 分の 1)。インフルエンザ流行シーズンに入ったこともあり、若干の患者増が見られるものの例年と比べて増加スピードが穏やかであり、12 月時点ではインフルエンザの流行入りは見られません。

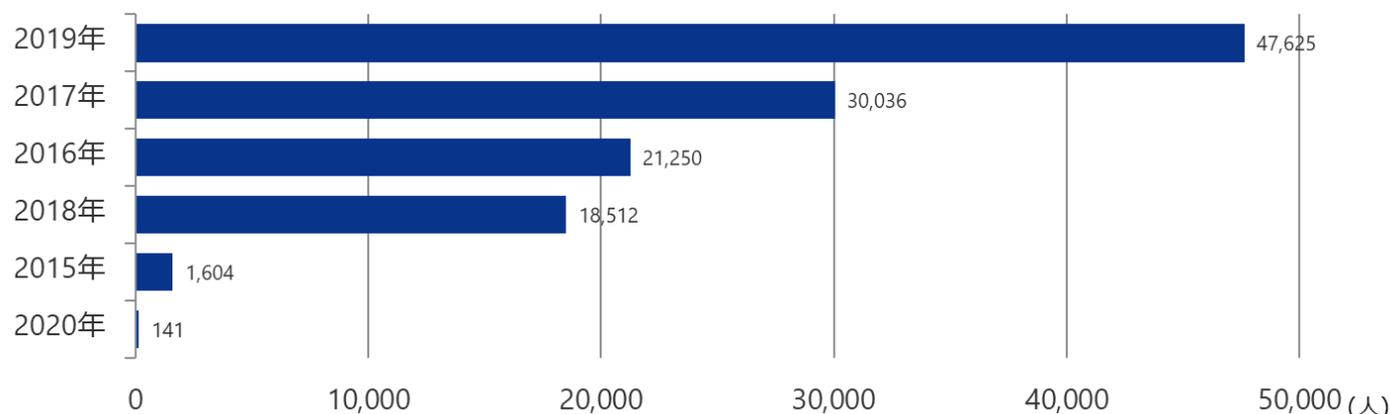
#### ■インフルエンザ治療薬処方患者数推移



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析  
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

## ■12月のインフルエンザ治療薬処方患者数(2015年以降)

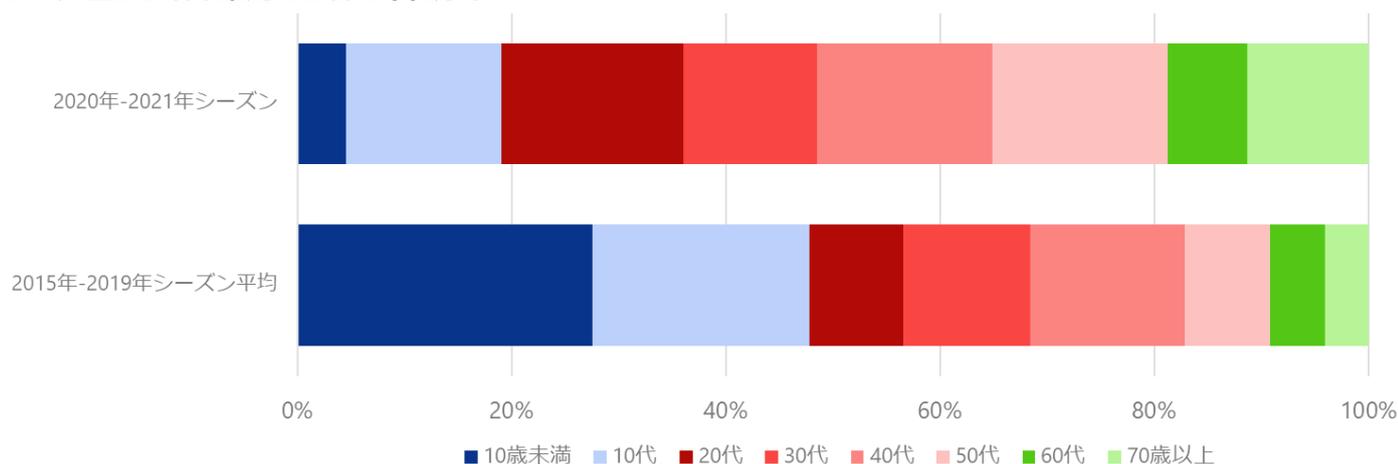


株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析  
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

厚生労働省は毎年第 36 週目よりインフルエンザの発生状況を発表しています。JMIRI データで今シーズンのこれまで(2020年8月31日~12月31日)の患者数を2015年~2019年同時期と比較すると、未成年、特に10歳未満のインフルエンザ患者数が大幅に減少していることが明らかとなりました。保育所や幼稚園などでの感染拡大が抑えられていることが示唆されます。現時点では流行入りはしておりませんが、例年インフルエンザは1~2月に感染拡大のピークを迎えるため、もう数ヶ月動向を見守っていく必要がありそうです。

## ■インフルエンザ治療薬処方患者の年代分布



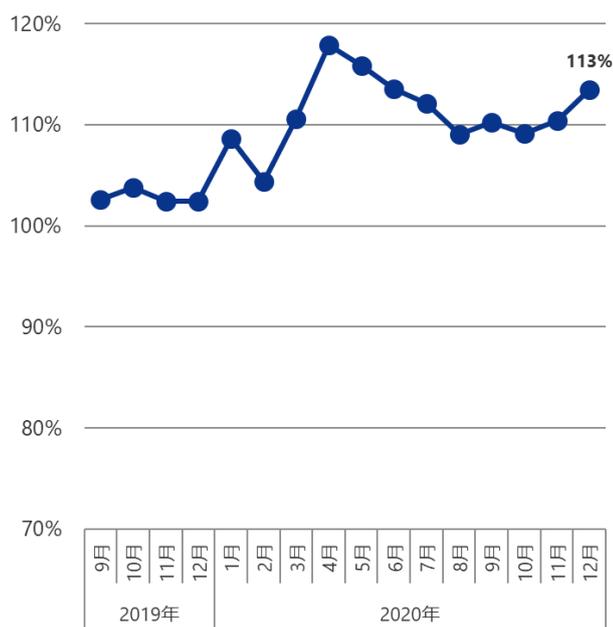
株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、バロキサビルを処方された患者を対象として分析  
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

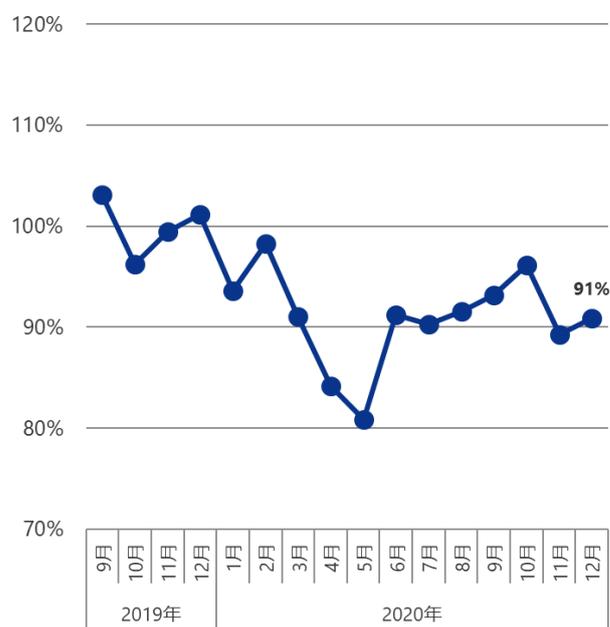
## 2. 患者数は横ばい、処方日数は増加傾向

12月の平均処方日数は前年同月比13%増（113%）、患者数は前年同月比9%減（91%）となりました。医療機関における一回あたりの平均処方日数は8月以降4ヶ月間同水準をキープしておりましたが、12月は増加傾向になっています。12月に処方を受けた患者数は前年同月比91%となり、前月とほぼ同水準となりました。新型コロナウイルスの感染拡大第1波では患者数大幅減、処方日数大幅増となり、第2波は大きな変動は見られませんでした。第3波では1回あたりの処方日数を増やすことで受診間隔をあげようとする傾向が見られています。

■一回あたりの平均処方日数の前年同月比



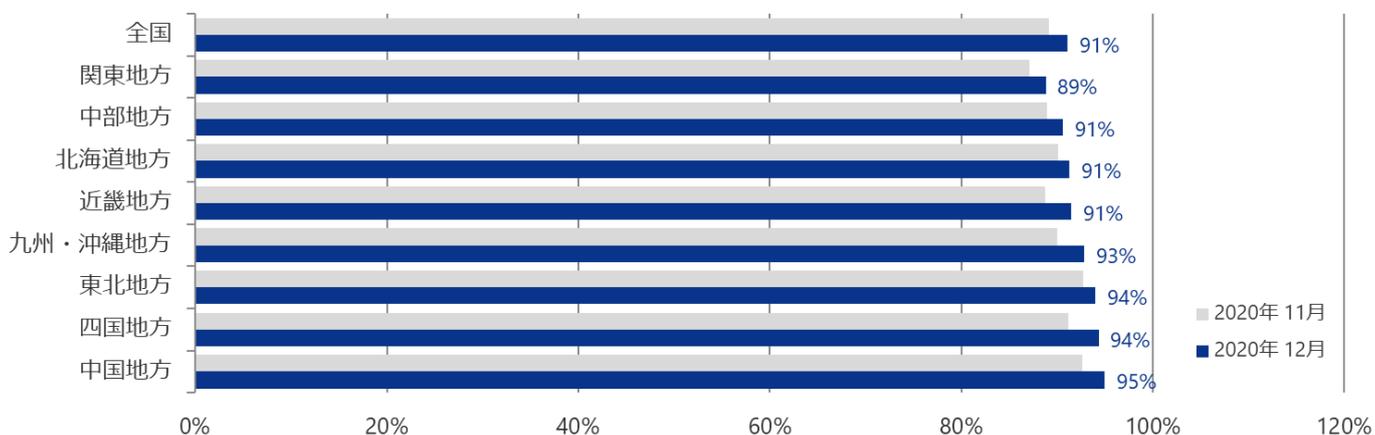
■患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

患者数の前年同月比を地域別に見ると、12月は全国的に患者数が戻ってきており、地域差は大きくないようです。

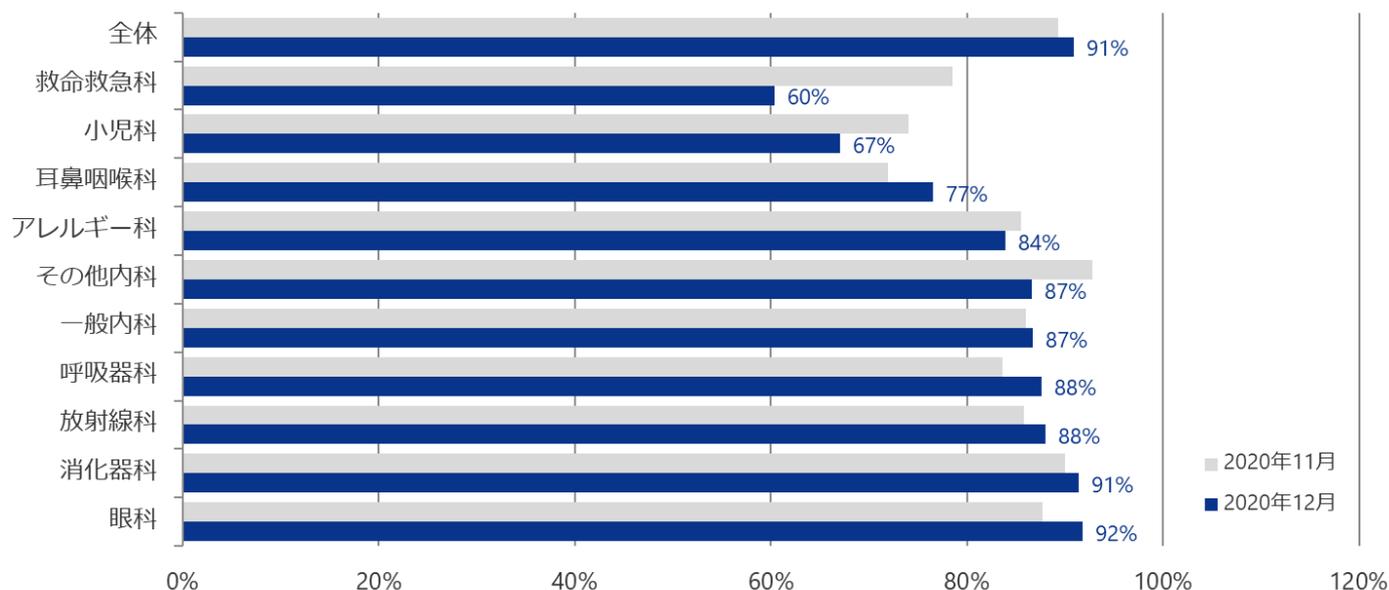
■地域別患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

患者数の前年同月比を診療科別に見ると、救命救急科と小児科が大幅に減少しました。去痰剤や鎮咳剤、インフルエンザ治療薬等、通常の感染症関連薬剤の処方減が影響しているようです。

### ■診療科別患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

JMIRI の全診療科(30 種)より 2020 年 12 月の前年同月比が低い 10 診療科を抽出

「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」(以下 緊急事態宣言)が 5 月に解除されて以降、医療機関を受診する患者数は回復を続けていたが、11 月に大きく減少し、12 月も続いています。11 月初めに新規感染者数の増加が始まり、第 2 波を大きく上回る感染者数を記録し続けた 12 月は受診を控える患者数に大きな変化がなかったものの、3~4 月同様、処方間隔をあけようとする傾向が見受けられます。

1 月 8 日には埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、1 月 14 日には栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県に再度緊急事態宣言が発出されました。1 回目の緊急事態宣言下では医療機関を受診する患者数が大幅に減少しており、1 月以降の動向も引き続き注視していく必要があります。

JMIRI は国内で初めて「処方箋データベース」の運用を開始し、15 年間のデータを用いて迅速な解析データの提供を行っています。今後も日本全国の処方実態をいち早くお伝えしてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

---

株式会社医療情報総合研究所 企画開発部 鹿島田

Eメール: [cs@intage.com](mailto:cs@intage.com) Tel:03-5294-5990

株式会社医療情報総合研究所 会社概要

---

会社名 : 株式会社医療情報総合研究所 (略称: JMIRI/ジェイミリ)

所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ 13 階

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章

設立日 : 2005 年 7 月 14 日

資本金 : 1 億 8,825 万円 (株式会社インテージヘルスケア 100%出資)

事業内容 :

当社は 2005 年に設立以来、「患者中心の医療・健康情報ネットワークに基づく患者指向のマーケティング支援」をコンセプトに、医療情報（処方情報、患者情報、医師・薬剤師の声）の収集、解析、および提供・販売を行っております。

2020 年 7 月、インテージグループ内にある医療用医薬品関連のファクトデータ事業を JMIRI に集約。今後、新たなソリューションの開発に注力してまいります。

URL : <https://www.jmiri.jp/>

---